| 事業番号 | 11　03　02 | 事業改善シート（令和８年度実施事業分） | □当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検 |
|---|---|---|---|

| 事業名 | 安全・安心な道路環境対策事業 | 部局 | 建設部 | 課・室 | 道路管理課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 実施期間 | S30　～ | E-mail | michikanri @ pref.nagano.lg.jp |

## 1　現状と課題

近年の激甚化・頻発化する災害や急速に進む施設の老朽化等に対し、限られた予算の中で計画的、効率的なインフラ整備の推進や管理体制の構築が必要である。

## 2　事業目的

県民の持続可能で安定した暮らしを守るため、道路施設の長寿命化と、防災や交通事故の対策等を実施する。

## 3　事業目的を達成するための取組

**①道路施設の長寿命化**

○安全で快適な道路環境の確保

春夏の観光シーズンに向け、除雪等により不鮮明となった道路の区画線等の塗り替え、冬季の凍結等により劣化した道路舗装の修繕等を速やかに実施するため、債務負担行為を設定する。（期間：令和８年度～令和９年度、限度額：2,000,000千円）

※その他の事業は当初予算のとおり

**②災害に強い道路施設の整備の推進**

○安全で円滑な交通の確保や観光地等へのアクセス向上のほか、事業効果の早期発現を目的とし、道路の舗装工事や橋梁補修等を前倒しして発注するため、債務負担行為を設定する。（期間：令和８年度～令和９年度、限度額：2,255,000千円）

○近年は、短時間で局地的に強度の高い雨が降る傾向にあり、今後もアンダーパスの冠水が発生する可能性が高いことから、緊急対策として県管理道路のうち優先度の高い７箇所のアンダーパスに物理的に進入を防ぐ装置（エアー遮断機等）を設置するため、債務負担行為を設定する。（期間：令和８年度～令和９年度、限度額：140,000千円）

※その他の事業は当初予算、９月補正のとおり

**③交通安全対策の推進**

※当初予算、９月補正のとおり

## 4　成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

| No. | 指標名 | 単位 | R5年度 実績 | R6年度 実績 | R6年度 推移 | R7年度 実績 | R7年度 推移 | R8年度 目標値 | 達成状況 | 目標値設定理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 指標なし | | | | | | | | | 緊急又は早期に対策が必要な橋梁及びトンネルにおける修繕等の措置完了率の状況を「５　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標」に記載。 |
| ② | 指標なし | | | | | | | | | |
| ③ | R3通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数 | 箇所 | 515/625 (82.4%) ※暫定的な対策含め (100%) | 530/625 (84.8%) | ↗ | 550/625 (88.0%) | ↗ | 625/625 (100%) | | ・用地買収や物件補償を伴う長期的対策箇所の歩道整備等を推進する。<br>・近年の予算処置及び用地交渉の状況により目標値を設定。<br>（R5実績値：ソフト対策へ移行した箇所の確定値により完了箇所数を修正） |

## 5　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

| No. | 施策分野（施策の総合的展開名） | 達成目標（☆印が付いているものは主要目標） | 単位 | 直近３か年の状況 年／年度 | 直近３か年の状況 数値 | 年／年度 | 数値 | 年／年度 | 数値 | 目標 年／年度 | 目標 数値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-2① | 災害に強い県づくりの推進 | | | | | | | | | | |
| 1-3① | 社会的なインフラの維持・発展 | ☆緊急又は早期に対策が必要な橋梁における修繕等の措置完了率 | % | 2023 (R5) | 橋梁 53% | 2024 (R6) | 橋梁 64% | 2025 (R7) | 橋梁 78% | 2027 (R9) | 100 |
| 1-3① | 社会的なインフラの維持・発展 | ☆緊急又は早期に対策が必要なトンネルにおける修繕等の措置完了率 | % | 2023 (R5) | トンネル 98% | 2024 (R6) | トンネル 98% | 2025 (R7) | トンネル 100% | 2027 (R9) | 100 |
| 1-6① | 県民生活の安全確保 | | | | | | | | | | |

## 6　事業コスト

（単位：千円、人）

| 区分 | 予算額 前年度繰越 | 当初予算 | 補正予算等 | うち今回補正額 | 合計（予算現額） | うち一般財源 | 決算額 | 職員数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8年度 | 18,741,104 | 23,777,271 | 5,125,730 | **0** | 47,644,105 | 10,978,564 | | 107.0 |
| R7年度 | 17,453,181 | 23,289,453 | 17,569,414 | | 58,312,048 | 13,865,477 | 39,491,291 | 107.0 |
| R6年度 | 14,212,796 | 22,550,314 | 21,121,340 | | 57,884,450 | 14,747,133 | 40,410,956 | 107.0 |

| 事業番号 | 11　03　02 | **細事業一覧（令和８年度実施事業分）** | □当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検 |
|---|---|---|---|

| 事 業 名 | **安全･安心な道路環境対策事業** | 部局 | 建設部 | 課･室 | 道路管理課 |
|---|---|---|---|---|---|

| 細事業No. | 細事業名 | R6年度予算現額 | R7年度予算現額 | R8年度予算 |
|---|---|---|---|---|
| **1** | **舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費他** | 57,884,450 千円 | 58,312,048 千円 | 予算現額 47,644,105<br>うち今回補正額 0<br>千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） |
|---|---|---|---|
| 1 | 舗装補修事業 | 直接 | 大規模な劣化箇所の舗装補修工事費<br>36箇所 |
| 2 | 橋梁補修事業 | 直接 | 橋梁長寿命化修繕計画等に基づく緊急性の高い橋梁等の補修設計、修繕及び架替工事費<br>312箇所 |
| 3 | 災害防除道路事業 | 直接 | 落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置工事費<br>120箇所 |
| 4 | 雪寒対策道路事業 | 直接 | スノーシェッド･堆雪帯等の設置工事費<br>２箇所 |
| 5 | 除雪事業 | 直接 | 除雪計画書に基づく除融雪作業費<br>県内一円 |
| 6 | 交通安全施設事業 | 直接 | 歩道の整備、交差点改良、道路情報板等の設置費<br>48箇所 |
| 7 | 電線共同溝整備事業 | 直接 | 電線共同溝の設置工事費<br>５箇所 |
| 8 | 雪寒地域建設機械整備事業 | 直接 | 雪寒地域内の除融雪機械の購入費<br>県内一円 |
| 9 | 道路橋梁維持修繕事業 | 直接 | 橋梁の比較的小規模な工事や緊急修繕等工事費<br>除雪計画書に基づく除融雪作業費<br>・豪雨による法面崩落や土砂流出等の被害を受けた箇所の早期復旧や被害拡大の防止、再度災害発生の防止等を実施。<br>・舗装の予防保全や住民生活･通行車両の安全･安心を確保するため、観光地及び市街地の路線の集中的な舗装修繕や支障木の伐採等を実施。<br>・降雨や融雪水が舗装内部へ浸透するとともに、大きな気温変化により路盤内の滞留水が凍結融解を繰り返すことにより舗装が損傷していることを踏まえ、路盤への水の浸入を抑制し再度発生防止を講じるため、路盤を含む舗装修繕を実施。<br>県内一円 |